

2022 年 11 月 11 日

2022 年 10 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり小ロット物件が中心であった。

なおかつ先月の仮需の影響もあり前年を大幅に下回った。

巻取についても仮需の影響のほか、生損保、金融、チラシ関連に大口物件の動きがほとんど見られず前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 90.1% 巻取 90.6%）

再生紙平判は入札案件の受注減少が続いている一方、在庫が全体的に不足気味のため前年を大幅に下回った。

再生紙巻取は前月に引続き大口案件の受注があり前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 70.0% 再生上質巻取 193.0% 再生上質計 112.5%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 90.2%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 80.2%）

<A2 コート>

平判は行動制限解除に伴う国内旅行の需要と入国制限緩和及び解除によるインバウンド需要の拡大に伴い、旅行パンフや飲食店、観光地チラシで需要の増加が見られたが、カタログやチラシ、雑誌で動きが鈍く、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は通販、食品デリバリーで一部動きが見られたが、定期雑誌において落ち込みが続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

（前年比 平判 94.7% 巻取 93.7% 全体 94.5%）

（2019 年比 A2 コート計 77.5%）

<A3 コート>

教育関連、旅行、ドラッグストア、不動産チラシの定期案件、イベントのスポットチラシ案件で動きが見られ巻取は前年を上回った。

（前年比 平判 85.6% 巻取 104.0% 全体 99.0%）

（2019 年比 A3 コート計 83.4%）

<ノーカーボン紙>

生保窓口販売帳票、コロナワクチン予診票の動きは見られ、さらに価格修正前の仮需要因があり巻・平共に大幅に前年を上回った。

（前年比 平判 107.3% 巻取 113.5%）

<上質フォーム>

株主議決権案件や全国健保などの動きはあるものの、数量は減少傾向だった。マイナンバー普及促進案件の追加や価格修正前の仮需がある中、全体的に盛り上がりには欠け前年を大幅に下回った。

(前年比 94.8%)

<包装用紙>

特殊両更は役所向け封筒に動きがあり前年を上回った。

(前年比 103.4%)

軽包装は雑包装用途と生花向け包装用途が堅調で、前年とほぼ同等の動きとなった。

(前年比 100.9%)

片艶晒は年末向けの手提げや包装用途などに動きが見られ前年と同水準となった。

(前年比 100.0%)

両更晒は包装用途にも一部動きは見られ、封筒関連全般も堅調であったが前年を若干下回った。

(前年比 98.3%)

色クラフトは各自治体向け封筒、金融機関向け封筒に動きがあり前年を上回った。

(前年比 103.8%)

純白ロールはインバウンド需要が回復傾向の為、お土産関連の包装紙が動いている事と、スーパーの包装紙でも一部で動きが見られ前年を大きく上回った。

(前年比 119.2%)

包装紙全体でも105.0%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールはインバウンドの影響が若干見られ、土産物も堅調でありお歳暮のギフト箱なども好調であった。

特板はコロナウイルスの行動制限が緩和され、巣籠もり需要も落ち着きテイクアウト向けは一服した感がある。一方、化粧品関連は動きが見られた。

チップボールも出版、エンタメ系は低調であったが、菓子の貼り箱は動きがあった。

全体では前年を上回った。

(前年比 119.1%)